

# 弘前大学学報



平成27年度秋季入学式 告辞

第 139 号  
平成27年10月号

---

## 目 次

---

### 学内ニュース

○平成27年度秋季入学式举行 .....	1
○弘前大学食料科学研究所「青森フルコース講演会・試食会」開催 .....	3
○弘前大学起業家塾（第2回目）を開催 .....	5
○『むつサテライトキャンパス』設置運営に関する覚書を締結 .....	6
○あおり海山社長による講演会 「～深浦町発信～ 産業創出による地域活性化に向けて」を開催 .....	7
○第15回弘前大学総合文化祭「テーマ『SHOUT』」を開催 .....	8
○名誉教授との懇談会を開催 .....	9
○弘前大学理学部・工学部創設50周年記念式典を挙行政 .....	10
○マツダ財団研究助成「科学技術振興関係」部門に採択 .....	12

諸 会 議 .....	13
-------------	----

### 人 事

○人事異動 .....	15
-------------	----

主要日誌 .....	18
------------	----

学内規則 .....	19
------------	----

---

## 平成27年度秋季入学式を開催

10月1日（木）、大学会館大集会室において、関係者出席の下、平成27年度秋季入学式が厳かに行われました。

### 学長告辞

本日、ここ弘前大学会館において平成二七年度の秋季入学式を挙げることは、私たち弘前大学教職員および学生にとって大きな喜びとするところであり、弘前大学を代表して、皆さんを歓迎するとともに、心からお祝いを申し上げます。皆さん、ご入学誠におめでとうございます。

この秋季入学式は大学院に新たに入学された方々のものであり、皆さんはこれまでも長きにわたって学んで来られたことと思いますが、さらに勉学を続けるという皆さんの決意に心から敬意を表すものです。特に大学院に関しては、学問の進歩にしたがって、高等教育の場としての役割が一層重要になっており、大学院における課程教育の必要性も指摘されるようになりました。弘前大学は北東北地域の総合大学として、高等教育機関に対する地域と全国、そして世界のさまざまな要請に応えていく必要があると認識していますが、この秋季入学式は間違いなくその一環と言えます。

かつて世界が経験したことのない少子高齢化が進む我が国においては、社会の将来を担う若い人材に対して大きな期待が集まっていますが、いつの時代にも若者が貴重な存在であることに変わりはありません。皆さんは、正しく我が国と国際社会の未来を担うべき有為の人材として社会から期待されています。しかしながら、皆さんはそのことに甘んじるのではなく、社会に力強く貢献する人材として自らをしっかりと育て下さるよう激励を送りたいと思います。本日のこの式は入学式としてはいささか地味かもしれませんが、皆さんお一人おひとりが、社会のリーダーとなる決意を明確にする機会になることを強く希望しています。

大学における学問は極めて自由です。高等学校までは、ある程度決められた勉学を皆が等しく学んで来ましたが、大学や大学院においてはまったく自由です。もちろん、皆さんには、それぞれの研究科において学ぶべき科目と取得すべき単位が設定されていますが、それらは皆さんの自由な勉学を制限するものではありません。皆さんは、カリキュラムを単にこなすだけでなく、それを指針の一つとして、大いに自由な学問を進めていかなければなりません。自ら進める学問



---

の素晴らしさと楽しさを是非とも知って下さるようお願いして止みません。

また、大学における学問は多様でもあります。学内の講義室や実験室などで行われる講義や実習だけが学問ではなく、学生生活のさまざまな側面に学びの機会があり、それを活かすか否かは皆さん次第です。また、弘前大学は学生の海外留学を支援し推進しています。いまだ多くの学生が海外留学を経験するに至っていませんが、例え短期の留学であっても、皆さんにとっては大いに貴重な経験になることは間違いありません。皆さんは多様な学びを通して自らの学問を高め、人格の陶冶に努めて下さるよう激励を送ります。

弘前大学は、他の多くの国立大学と同様、第二次世界大戦後に発足した新制大学として、近く70周年を迎えようとしています。加えて、母体となった青森県師範学校以来の歴史をたどると、おおよそ百四十年の伝統を持っています。皆さんは、歴史と伝統ある弘前大学の未来を創造する人材として、まずはしっかりと学問を修め、やがては我が国社会と国際社会のリーダーに成長して下さるものと信じています。

終わりに、弘前大学における皆さんの学生生活が、健全で実り多いものになるよう祈念して告辞と致します。

平成27年10月1日

弘前大学長 佐藤 敬

## 弘前大学食料科学研究所「青森フルコース講演会・試食会」を開催

弘前大学食料科学研究所では、10月1日（木）、青函圏の産学官金の関係者ら80名を対象に、青森市内のホテルにおいて「青森フルコース講演会・試食会」を開催しました。

同研究所では、津軽海峡を挟む青函圏を北日本と位置づけ、青函の強みである「食」を移出・輸出し外貨を稼ぐ「北日本食の成長戦略」を掲げ、北日本の食の高付加価値化を目指し、機能性に関する研究を行うとともに、文系、理系、芸術を融合（文理芸術融合）させた食の総合プロデュースによる世界に向けたブランド化を目指した取り組みを行っています。

講演会では、同研究所福田准教授による文理芸術融合型北日本食の成長戦略の趣旨説明に続き、同大教育学部特任教授の加藤陽治氏から「機能性食品素材の研究と利活用」、有限会社オフィス一六の古西正史氏から「食の機能性は市場創造のカギ マーケティングによる“戦略”と“戦術”」と題した講演が行われ、機能性食品の基礎と応用研究、そして研究成果に基づく商品企画とブランド化に関する講演を通じて、食の総合プロデュースの必要性や重要性の理解を深めました。

試食会では、ホタテやサバなど青森近海で捕れた海産物のほか、青森市産のミニトマト「ベビーベビー」や八甲田牛、カシスなど青森市の食材を中心としたフルコース料理を試食し、食の総合的（味・環境・情報・人など）な魅せ方を五感で体験していただくことにより、青森産農林水産物のブランド化向上と推進に資する提案を行いました。

同研究所では今後、高度で先端的な基礎研究を通じた食料科学領域の学術拠点の形成を進めるとともに、「食の総合プロデュース」として、食材の研究、商品開発とともに、食材の輸送方法、レストラン経営なども含めた総合的な取り組みを通じた地域貢献活動を進める予定です。



挨拶する嵯峨弘前大食料科学研究所長



来賓挨拶を述べる鹿内 博青森市長



青森県産食材を使用した「青森フルコース」

## 『むつサテライトキャンパス』設置運営に関する覚書を締結

弘前大学と学校法人青森田中学園青森中央学院大学は、平成27年10月6日（火）に滞在型学習、公開講座、講演会等の実施や両大学の各種紹介資料の配付などによる広報活動、その他地域の活性化に資する事業を実施することを目的として、むつ市と3者共同でむつサテライトキャンパスを設置することの覚書を締結しました。

調印にあたって、宮下むつ市長から、「高等教育機関がないむつ市にとってサテライトキャンパス開設は大きな意義がある。若者が溢れ活気ある街になることを期待する」との挨拶がありました。引き続き、佐藤弘前大学学長から、「地域に貢献すべく、地域の方々と連携・協力をしてサテライトキャンパスを発展していきたい。特に滞在型学習について、教室だけの講義だけではなく、地域に出向き地域課題を認識し学ぶことを期待したい」との挨拶がありました。引き続き、花田青森中央学院大学学長から、「これから最良のパートナーである弘前大学と共にサテライトキャンパスを設置できたことに感謝する。これからは3つの力を合わせてむつ市の産業・教育を一層進めていく」との挨拶がありました。

同日、サテライトキャンパス開設記念として、むつ市長、青森県立田名部高等学校の生徒、両大学のむつ市出身の学生及び両大学教員らによる「むつ市の未来を考えるシンポジウム」が開催され、むつ市の未来について活発な意見交換があり、シンポジウムは盛況のうちに終了しました。



左から、佐藤 弘前大学長、宮下 むつ市長、花田 青森中央学院大学長



シンポジウムの様子

## 弘前大学起業家塾（第2回目）を開催

平成27年10月7日（水）、弘前大学総合教育棟3階306講義室において、「弘前大学起業家塾」を開催しました。

研究・イノベーション推進機構では、大学のもつシーズを活用したベンチャーの創出と地域産業の発展及びイノベーションの創出に向けて、学生や若手研究者の起業（VB）を促進することを目的とした「弘前大学起業家塾」を今年度よりスタートさせました。

第2回目は、四元マーケティングデザイン研究室 代表 四元 正弘 氏による「ビジネス書には決して載っていないけどマーケティングで本当に理解すべき本質論」及び北海道大学 産学・地域協働推進機構 特任教授 荒磯 恒久 氏による「イノベーションとアントレプレナーシップ」と題し、マーケティングにおける強い差別化と弱い差別化、革新性（イノベーション）の生み出し方、日本型イノベーション創出システム、次世代イノベーションのコンセプトについてそれぞれ御講演いただきました。

当日は学生、教員、学外研究者、企業関係者など約50名が聴講し、講演後も塾生から四元氏、荒磯氏に個別の質問が寄せられるなど、熱心な意見交換が行われました。また、起業家塾修了後、荒磯氏による個別相談会が行われ、イノベーション創出のためのヒントを教授していただきました。



講演する四元 正弘 氏



講演する荒磯特任教授と講演会の様子



あおもり海山社長による講演会  
「～深浦町発信～ 産業創出による地域活性化に向けて」を開催

弘前大学では、幹部級職員を主な対象とした社会連携や地域貢献にかかるFD・SD事業の第10回目として、あおもり海山社長による講演会「～深浦町発信～ 産業創出による地域活性化に向けて」を、平成27年10月13日（火）に弘前大学農学生命科学部401講義室で開催しました。

この講演会は、先に行われた青森県基本計画等に関する説明会や、サンマモルワイナリー社長による講演会等続くもので、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を一層推進し、地域の再生・活性化の拠点となる大学を形成するため、地域を志向とする事業の展開や、地方企業としての経営ノウハウに対する見識を深めることを目的として開催されたものです。

講演会には、佐藤学長をはじめ、役員、部局長、教育研究評議員など幹部職員らが、また、弘前市役所職員など学内外合わせて63名が出席しました。講演者の堀内 精二 株式会社あおもり海山代表取締役からは、会社が置かれている青森県西津軽郡深浦町についての紹介から始まり、農林漁業成長産業化支援機構（A-FIVE）を活用した6次産業化事業体としての出資認定をするなど会社を設立するまでの経緯、深浦町で水揚げされたクロマグロの加工・冷凍・販売を手掛けている事業内容や株式会社エー・ピー・カンパニーとのアライアンスによる経営力強化について説明があり、青森の地域資源の価値を高めた流通には冷蔵・冷凍施設や漁師の意識改革が必要であるとの意見を述べました。

さらに、平成28年3月に開業する北海道新幹線を活かすべく、観光客を深浦町に誘致する新商品の開発や観光商品の企画・販売及びクロマグロのみならず多種多様な魚種の加工販売を手掛け、地元の雇用につなげたいなど今後の展望を述べ、講演会は盛況のうちに終了しました。



講演する堀内社長



質問する佐藤学長

第15回弘前大学総合文化祭  
「テーマ『SHOUT』」を開催

第15回弘前大学総合文化祭が10月16日（金）から18日（日）の3日間にわたり、本学文町キャンパスで開催されました。

今年のテーマ  
『SHOUT』

目立ってなんぼ！  
熱く燃えたぎる  
魂を叫べ!!

オープニングフェスティバルでは、爽やかな秋空の下、集まった大勢の観客を前に、総合文化祭実施委員会委員長の佐藤学長が声高らかに開祭宣言し、華々しい幕開けとなりました。

期間中は、学生主体の模擬店でキャンパスは賑わい、学生の日頃の研究成果をもとにした実習や体験を直接体感できる「サイエンスへの招待」をはじめ、様々な研究発表がありました。さらに大学会館広場ステージでは、「ミスター&ミス弘大コンテスト2015」や「爆笑お笑いライブ in HIRODAI」,「激闘！カラオケ選手権2015」などが開催され、会場は大きな拍手と笑いに包まれました。また、県内各地から計8チームが集合し、華麗な演舞を披露した「よさこい弘大」といったイベントの他に、一般来場者が参加できる「BINGOだよ!!全員集合!!」や「イントロQ!!」,「大抽選会」など多彩な催しも行われました。

昨年同様、包括協定を締結している弘前市により行われた「地元産農産物等販売」にも多くの来者が訪れていました。

学生、教職員、地域住民が一体となり本学の更なる飛躍が感じられる3日間となりました。



多くの来場者で賑わう文京キャンパス



よさこいサークル「焰舞陣」によるよさこい

---

## 名誉教授との懇談会を開催

弘前大学では、平成27年10月9日（金）弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大八甲田ホールにおいて「名誉教授との懇談会」を開催しました。

この懇談会は、本学名誉教授を迎え、本学の管理運営について忌憚のない御意見を伺うために例年10月に開催しており、今年度は名誉教授14名と大学側から学長をはじめ16名が出席しました。

はじめに学長より「大学は常に改革を求められており、本学においても改革を推し進めるべく、様々な取組を実施している。これらの取組について、名誉教授の先生方から忌憚のない御意見を頂戴したい。」との挨拶があり、続いて、学長よりこの1年間における大学の業務実績の総括報告がありました。その後、各学部・研究科長、附属病院長及び各附置研究所長がそれぞれ現況報告をしました。

名誉教授からは「各研究所を地域の人々に知ってもらうPRをより一層頑張って欲しい。」「地方大学として、目立つために「入学者の確保」、「食育」、「放射線」等の様々な事業をリンクさせ、一体化した取組をもっと実施して欲しい。」といった御意見が出されました。

懇談会終了後はコラボレーションセンター農学生命科学部大会議室へ会場を移し、昼食会を引続き開催しました。



挨拶する佐藤学長



参加した名誉教授

---

## 弘前大学理学部・理工学部創設50周年記念式典を挙りました

弘前大学理工学部では、理学部・理工学部創設50周年記念式典を10月17日（土）に弘前大学理工学部で挙り、県内外の卒業生、元教職員をはじめ、学内外の関係者約120名を招き、盛大に50周年の節目を祝いました。

記念式典は、弘前大学理学部の卒業生で現在、青森朝日放送のアナウンサーとして活躍されている石塚絵里子さんの司会により、宮永崇史学部長が「来年度からの学部改組を間近に控え、地域の皆様にはこれからますます理工学部との関係を深めていただくとともに、大きな期待を寄せていただきたい」と式辞を述べました。

続いて、三村伸吾青森県知事（代理：藤岡正昭中南地域県民局長）、葛西憲之弘前市長（代理：山本昇経営戦略部長）、一般社団法人青森県工業会 東康夫会長から祝辞が述べられました。

その後、理工学研究科の糠塚いそし教授から理学部のあゆみについて、古い写真をプロジェクトに映しながら説明があり、出席者は当時の様子を懐かしんでいました。

続いて、同窓生を代表して元理学部生物学科教員の石田幸子先生から理学部一期生として入学した当時の入試制度のことについて話があり、「生物学科の学生として学んだことが人生に大いに役立っている」と挨拶をしました。さらに在學生を代表して理工学部数理科学科4年の伊藤厚さんが「暗記中心の高校時代に比べて、理工学部の教員には理解を中心とした学びの大切さを教わり感謝しています。」と挨拶しました。

引き続き、弘前大学理工学研究科の浅田秀樹教授が「アインシュタインの一般相対性論誕生100周年」、同じく理工学研究科の稲村隆夫教授が「弘前大学理工学部誕生と私の研究活動」と題して、記念講演が行われました。

さらに記念祝賀会が大学会館で催され、宮永崇史学部長の挨拶に続いて、千葉信行理工学部同樹会会長の乾杯発声で懇談に入りました。また、余興として、学生サークル「弘大囃子組」による青森県内各地の祭囃子が披露され、出席者が掛け声をかけるなど楽しい集いとなり、三浦理工学部講演会会長による挨拶で締めくくられました。

翌日は、在學生の案内によるキャンパスツアーが行われた。当日は総合文化祭も行われており、参加者は賑やかなキャンパス内を見学して大いに楽しんでいました。



式辞を述べる宮永学部長



同窓生代表の石田元理学部教員



祭囃子を披露する弘大囃子組の皆さん



キャンパスツアーの様子

---

## マツダ財団研究助成「科学技術振興関係」部門に採択

本学大学院理工学研究科の麓 耕二 准教授の研究課題「低温環境下において自励的に作動するマイクロ熱輸送デバイスを用いた実用化基盤技術の構築」が、第31回（2015年度）マツダ財団研究助成「科学技術振興関係」部門に採択されました。

2015年10月22日（木）、同財団の佛圓哲朗事務局長代理より麓准教授へ贈呈書が手渡されました。同研究は、積雪寒冷地における信号機への着氷雪防除を目的としており、信号機の電子基盤からの排熱を輸送・伝熱することで着雪防除に効果的な熱供給方法を探索します。研究期間は2年間で、積雪寒冷地域の実問題解消へ向けた研究が行われます。

なお、麓准教授の同財団からの採択は2006年に引き続き2度目となります。



記念品を手にする麓 耕二 准教授（左から2人目）

---

## 諸会議

### ▼役員会

10月5日（月）

#### 審議事項

1. 職員の懲戒等について
2. 第2期中期目標期間の業務の実績に関する報告書等について
3. 学生募集要項（一般入試）について
4. 放射線安全総合支援センターについて
5. COI専任教員の選考結果について
6. 弘前大学における人を対象とした医学系研究に関する規程の制定について

#### 報告事項

1. 平成27年度「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」について
2. 平成27年度科研費（補助金分・基金分）配分状況等について
3. あおもり海山社長による講演会「～深浦町発信～ 産業創出による地域経済活性化に向けて」の開催について
4. 国立大学法人弘前大学の平成26年度に係る業務の実績に関する評価結果（原案）について
5. その他  
(1) 教育研究院の学系長について

10月19日（月）

#### 報告事項

1. 平成27年度弘前大学学術特別賞の授賞者決定について
2. 平成27年度内部監査（重点監査項目）の結果について

### ▼教育研究評議会

10月13日（火）

#### 審議事項

1. 学生募集要項（一般入試）について
2. 放射線安全総合支援センターについて

#### 報告事項

1. 教員の採用等について
2. 職員の懲戒等について
3. 第2期中期目標期間の業務の実績に関する報告書等について

- 
4. 平成27年度「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」について
  5. 平成27年度科研費（補助金分・基金分）配分状況等について
  6. 委員会等報告
    - (1) 入学試験委員会報告（9月24日開催分）
    - (2) 21世紀教育センター運営委員会報告（9月17日開催分）
    - (3) 教員免許状更新講習支援室運営委員会・教員免許状更新講習実施委員会合同会議（9月28日開催分）
  7. むつサテライトキャンパスの設置について

#### ▼教育委員会

10月28日（水）

##### 審議事項

1. 学生に対する「研究倫理教育」の実施について
2. 平成27年度後期「学生による授業評価アンケート」の実施について
3. 学生の協力による学修相談・支援サービスの試行について
4. その他

##### 報告事項

1. 推薦入試I・AO入試(人文社会科学部, 教育学部, 理工学部, 農学生命科学部) 合格者の入学前交流プログラムについて
2. 弘前大学見学会について
3. 平成27年度前期懲戒処分について
4. 自転車の盗難防止について
5. 平成27年度入学料徴収猶予者(秋季入学)について
6. 平成28年度入学予定者 弘前大学ゆめ応援プロジェクト選考結果(推薦I・II, AO)について
7. 日本学生支援機構奨学金 平成28年度大学院予約採用について
8. 弘前大学総合文化祭の実施について
9. 障害を理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応要領(雛形案)等について
10. 課外活動団体結成について
11. 公立学校教員採用候補者選考大学推薦候補者の選考結果について
12. その他

#### ▼研究委員会

10月28日（水）

##### 報告事項



- 
1. 研究委員会委員の交代について
  2. 研究・イノベーション推進機構の改組について
  3. 平成 27 年度科研費（補助金分・基金分）配分状況等について
  4. 学内研究助成事業等の実施状況について
  5. 法令に基づく制度等について
  6. 起業支援について

## 新任教授紹介

【平成27年10月1日発令】



医学系／臨床医学領域／大学院医学研究科専任担当

コバヤシ ケン  
小林 恒

昇任

前職：准教授（医学研究科）

## 人事異動

【採用】

発令年月日	現職（所属）	氏名	異動内容
H27年10月01日		小暮 克哉	助教（人文社会・教育学系／社会科学領域／教育推進機構アドミッションセンター専任担当）〔H30.9.30まで〕
H27年10月01日		畑山 佳臣	助教（医学系／臨床医学領域／大学院医学研究科専任担当）〔H32.9.30まで〕
H27年10月01日		塩崎 崇	助教（医学系／臨床医学領域／医学部附属病院専任担当）〔H32.9.30まで〕
H27年10月01日		齋藤 百合子	助教（医学系／臨床医学領域／医学部附属病院専任担当）〔H28.4.8まで〕
H27年10月01日		三浦 卓也	助教（医学系／臨床医学領域／医学部附属病院専任担当）〔H32.9.30まで〕
H27年10月01日		鄒 青穎	助教（自然科学系／農学・生命科学領域／農学生命科学部専任担当）
H27年10月01日		佐竹 美和	助手（医学系／臨床医学領域／大学院医学研究科専任担当）〔H32.9.30まで〕
H27年10月01日		千代谷 真理	助手（医学系／臨床医学領域／医学部附属病院専任担当）〔H32.9.30まで〕
H27年10月01日		井川 明子	助手（医学系／臨床医学領域／医学部附属病院専任担当）〔H32.9.30まで〕
H27年10月01日		福士 謙	助手（医学系／臨床医学領域／医学部附属病院専任担当）〔H32.9.30まで〕
H27年10月01日		野口 智子	助手（医学系／臨床医学領域／医学部附属病院専任担当）〔H32.9.30まで〕
H27年10月01日		時田 幸治	助手（医学系／臨床医学領域／医学部附属病院専任担当）〔H32.9.30まで〕
H27年10月01日		中川 悟	助手（医学系／臨床医学領域／医学部附属病院専任担当）〔H32.9.30まで〕
H27年10月01日		羽賀 敏博	助手（医）〔H31.3.31まで〕
H27年10月01日		津山 博匡	薬剤師（病院・薬剤）
H27年10月01日		山本 裕樹	診療放射線技師（病院・医技）
H27年10月01日		丹藤 淳	看護師（病院・看護）
H27年10月16日		竹囲 年延	助教（自然科学系／安全システム工学領域／大学院理工学研究科専任担当）

【任期更新】

発令年月日	現職（所属）	氏名	異動内容
H27年10月01日	准教授（医）	橋本 安弘	准教授（医）〔H32.9.30まで〕
H27年10月01日	助教（医）	米山 徹	助教（医）〔H32.9.30まで〕

H27年10月01日	助手（医）	岩村 大径	助手（医学系／臨床医学領域／大学院医学研究科専任担当）〔H32.9.30まで〕
H27年10月24日	教諭（教育・特支）	勘林 秀平	教諭（教育・特支）〔H27.12.13まで〕

[昇任]

発令年月日	現職（所属）	氏名	異動内容
H27年10月01日	准教授（医）	小林 恒	教授（医学系／臨床医学領域／大学院医学研究科専任担当）〔H37.9.30まで〕
H27年10月01日	助教（医）	今井 篤	講師（医）〔H32.9.30まで〕

[配置換]

発令年月日	現職（所属）	氏名	異動内容
H27年10月01日	事務職員（総務・総務）	平田 亜湖	事務職員（総務・人事）
H27年10月01日	事務職員（総務・人事）	栗林 航	事務職員（医）
H27年10月01日	助教（医）	矢越 ちひろ	助教（医学系／臨床医学領域／医学部附属病院専任担当）〔H32.9.30まで〕
H27年10月01日	助手（病）	大石 将文	助手（医学系／臨床医学領域／大学院医学研究科専任担当）〔H32.9.30まで〕

[命]

発令年月日	現職（所属）	氏名	異動内容
H27年10月01日	教授（医学系／基礎医学領域／大学院医学研究科附属脳神経血管病態研究施設専任担当）	若林 孝一	教育研究評議会評議員
H27年10月01日	教授（自然科学系／農学・生命科学領域／農学生命科学部専任担当）	橋本 勝	教育研究評議会評議員
H27年10月01日	教授（医学系／基礎医学領域／大学院医学研究科専任担当）	土田 成紀	アイソトープ総合実験室長〔H28.1.31まで〕
H27年10月01日	教授（医学系／基礎医学領域／大学院医学研究科附属高度先進医学研究センター専任担当）	伊東 健	機器分析センター副センター長〔H28.1.15まで〕
H27年10月01日	教授（自然科学系／機能創成科学領域／大学院理工学研究科専任担当）	岡崎 雅明	機器分析センター副センター長〔H29.9.30まで〕
H27年10月01日	教授（人文社会・教育学系／社会科学領域／国際連携本部専任担当）	和氣 太司	国際連携本部長〔H28.1.31まで〕
H27年10月01日	教授（人文社会・教育学系／人文科学領域／人文学部専任担当）	今井 正浩	教育研究院人文社会・教育学系長〔H28.1.31まで〕
H27年10月01日	教授（人文社会・教育学系／教育・芸術領域／教育学部専任担当）	戸塚 学	教育研究院人文社会・教育学系副学系長
H27年10月01日	教授（人文社会・教育学系／人文科学領域／人文学部専任担当）	渡邊 麻里子	教育研究院人文社会・教育学系人文科学領域長
H27年10月01日	教授（人文社会・教育学系／社会科学領域／人文学部専任担当）	杉山 祐子	教育研究院人文社会・教育学系社会科学領域長
H27年10月01日	教授（人文社会・教育学系／教育・芸術領域／教育学部専任担当）	大高 明史	教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域長
H27年10月01日	教授（医学系／基礎医学領域／大学院医学研究科附属脳神経血管病態研究施設専任担当）	若林 孝一	教育研究院医学系長〔H28.1.31まで〕
H27年10月01日	教授（医学系／基礎医学領域／大学院医学研究科専任担当）	鬼島 宏	教育研究院医学系基礎医学領域長
H27年10月01日	教授（医学系／臨床医学領域／大学院医学研究科専任担当）	福田 眞作	教育研究院医学系臨床医学領域長
H27年10月01日	教授（医学系／保健科学領域／大学院保健学研究科専任担当）	木田 和幸	教育研究院医学系保健科学領域長
H27年10月01日	教授（自然科学系／農学・生命科学領域／農学生命科学部専任担当）	橋本 勝	教育研究院自然科学系長〔H28.1.31まで〕
H27年10月01日	教授（自然科学系／安全システム工学領域／大学院理工学研究科附属医用システム創造フロンティア専任担当）	笹川 和彦	教育研究院自然科学系安全システム工学領域長
H27年10月01日	教授（自然科学系／機能創成科学領域／大学院理工学研究科専任担当）	岡本 浩	教育研究院自然科学系機能創成科学領域長
H27年10月01日	教授（自然科学系／農学・生命科学領域／農学生命科学部専任担当）	鈴木 裕之	教育研究院自然科学系農学・生命科学領域長
H27年10月01日	教授（地域イノベーション学系／戦略的融合領域／教育学部専任担当）	北原 啓司	教育研究院地域イノベーション学系長〔H28.1.31まで〕
H27年10月01日	教授（地域イノベーション学系／戦略的融合領域／被ばく医療総合研究所専任担当）	山田 正俊	教育研究院地域イノベーション学系戦略的融合領域長

H27年10月01日	教授（医学系／臨床医学領域／大学院医学研究科専任担当）	大山 力	教授（医・先進移植再生医学講座） 〔H32.9.30まで〕
H27年10月01日	教授（医学系／臨床医学領域／大学院医学研究科専任担当）	小林 恒	医学部附属病院歯科口腔外科科長

[免]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H27年10月01日	教授（自然科学系／機能創成科学領域／大学院理工学研究科専任担当）	伊東 俊司	教育研究評議会評議員
H27年10月01日	教授（医学系／基礎医学領域／大学院医学研究科専任担当）	土田 成紀	機器分析センター副センター長

[育児休業]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H27年10月01日	看護師（病院・看護）	小杉 麻里子	職務復帰
H27年10月01日	看護師（病院・看護）	西村 志津恵	職務復帰
H27年10月01日	看護師（病院・看護）	蒔苗 文子	職務復帰
H27年10月01日	助産師（病院・看護）	松田 愛	職務復帰
H27年10月01日	看護師（病院・看護）	榊 妃呂子	職務復帰
H27年10月01日	看護師（病院・看護）	戸田 貴子	職務復帰
H27年10月07日	看護師（病院・看護）	佐藤 巴恵	育児休業開始〔H29.3.31まで〕
H27年10月28日	講師（医学系／保健科学領域／大学院保健学研究科専任担当）	扇野 綾子	育児休業開始〔H28.3.31まで〕
H27年10月31日	事務職員（病院・総務）	丸山 ひかり	育児休業開始〔H29.6.30まで〕

[休職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H27年10月01日	主任（研推・学情）	熊谷 千賀子	期間延長〔H27.12.31まで〕
H27年10月01日	主任（医）	和田 丈稔	期間延長〔H27.10.31まで〕
H27年10月01日	事務職員（医）	小豆畑 早苗	期間延長〔H27.12.31まで〕
H27年10月01日	事務職員（病院・医事）	久保 貴子	期間延長〔H28.03.31まで〕
H27年10月01日	副看護師長（病院・看護）	工藤 文子	期間延長〔H27.12.31まで〕
H27年10月01日	副看護師長（病院・看護）	中村 香織	復職
H27年10月01日	看護師（病院・看護）	中嶋 公美子	期間延長〔H27.12.31まで〕
H27年10月01日	看護師（病院・看護）	大沢 美紗姫	期間延長〔H27.11.30まで〕
H27年10月14日	看護師（病院・看護）	柏崎 弓美	休職開始〔H27.11.09まで〕
H27年10月18日	教授（人文社会・教育学系／社会科学領域／人文学部専任担当）	作道 信介	期間延長〔H28.02.06まで〕
H27年10月19日	看護師（病院・看護）	高橋 美鈴	復職

[離職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H27年10月04日	助教（医学系／臨床医学領域／医学部附属病院専任担当）	仲田 崇	辞職
H27年10月17日	看護師（病院・看護）	松林 なつみ	辞職
H27年10月31日	看護師（病院・看護）	相馬 夕紀	辞職

---

## 主要日誌

- 10月 1日 平成27年度秋季入学式  
〃 弘前大学食料科学研究所「青森フルコース講演会・試食会」  
5日 アドミッションセンター新設に伴う看板上掲式  
〃 第441回役員会  
6日 『むつサテライトキャンパス』設置運営に関する覚書締結  
6日 第39回国立大学54工学系学部長会議総会  
7日 第2回弘前大学起業家塾  
9日 名誉教授との懇談会  
13日 あおもり海山社長による講演会「～深浦町発信～ 産業創出による地域活性化に向けて」  
〃 企画戦略会議  
〃 教育研究評議会  
17日 弘前大学理学部・理工学部創設50周年記念式典  
19日 第442回役員会  
20日 事務連絡会議  
22日 マツダ財団研究助成「科学技術振興関係」部門採択

---

## 学内規則

【平成27年10月5日改正】

(一部改正)

○国立大学法人弘前大学公印規程

本学の各機構長共通の職印として「機構の長の印」を規定し、総務部総務課長を当該職印の監守責任者とするとともに、学内共同教育研究施設の長の印である「アイソトープ総合実験室の長の印」を作成することに伴い、研究推進部社会連携課長を当該職印の看守責任者とするため、上記の規程を一部改正した。

【平成27年10月16日制定等】

(制定)

○弘前大学放射線安全総合支援センター規程

○弘前大学放射線安全総合支援センター運営会議要項

(一部改正)

○国立大学法人弘前大学コンプライアンス基本規則

○国立大学法人弘前大学リスクマネジメント基本規則

○国立大学法人弘前大学事務組織規程

○国立大学法人弘前大学の学内規則等の区分及び制定改廃の手続き等に関する規程

○国立大学法人弘前大学顧問弁護士相談規程

○国立大学法人弘前大学公益通報処理規程

○国立大学法人弘前大学災害対策規程

原子力規制委員会から「高度被ばく医療支援センター」及び「原子力災害医療・総合支援センター」の指定を受けたことに基づき、本学に「放射線安全総合支援センター」を設置し、指定を受けたセンターに係る業務を実施するための運営体制等について規定するため、上記の規程等を制定等した。

弘前大学学報第139号

弘前大学総務部広報・国際課  
036-8560 弘前市文京町1  
電話 (0172) 36-2111